

ぎ、行政のより一層の透明性を確保するため、平成七年に策定した大館市行政改革大綱に基づき、社会情勢などの変化に速やかに対応しながら、引き続き見直しを図っていきます。

勤総A建設が はじまりました

一月二十八日、雇用促進事業団は、大館市勤労者総合福祉センターA型の建物建設工事の入札を実施しました。その結果、三億四千万円で市内の業者が落札し、二月十七日から工事に入っています。建物は、収納式ステージと収納

式ミラーを備えた多目的ホール、教養文化室（和室）、完全防音の音楽室及び陶芸用の電気炉がある創作実習室など七つの部屋からなる複合施設となっています。完成後は、勤労者のみならず市民の多様な要望に応えることができるものと期待しています。

また、建設場所も大館地域職業訓練センターの敷地に隣接していますので、一体となった幅広い利用が可能になります。

工期は十月十三日までとなっていますが、市が実施する外構工事や備品の配置などの関係から、開館日は十二月の予定となっています。

農業関係整備事業が 着々と進んでいます

平成五年度から真中地区で実施していました農村総合整備事業と農業集落排水事業は、営農飲雑用水施設、汚水処理場、管路の整備により、平成八年八月一日から板沢、小袴、赤石の一部で使用が可能となっています。平成九年度には引き続き管路の整備を行い、計画どおり全集落の使用が可能となる見込みです。

十二所地区農村総合整備事業については、営農飲雑用水は平成八年度に猿間、葛原間の送水管布設と排水池などの整備を実施し、平成九年度には生活用水の不足する葛原地区の八〇パーセントに給水できる見込みです。沢尻地区農業集落排水緊急事業では、汚水処理場の建設、管路の布設を実施中で、平成九年度に葛原地区を対象に一部使用が可能となる予定です。

雪沢地区中山間地域整備事業については、平成八年度に活性化センター「樹海の里ゆきさわ館」、温泉供給施設、ハウス用地の整備を実施し、進展具合は七七パーセントとなっています。平成九年度には、小雪沢、石測地区営農飲雑用水施設の整備を行い、平成九年度の事業完了を予定しています。平成六年度から事業着手しました山村振興特別対策事業につ

いては、平成八年度に二ツ屋地区簡易給水施設の使用が可能となりました。平成九年度には、楢ノ木岱生産物直売所、黒沢集落道を整備し、全事業を完了する予定です。

県営事業の担い手育成基盤整備事業については、現在施工中の茂内地区、下川原地区に続き、平成九年度から立花地区六十ヘクタール、道目木地区三十七ヘクタールの工事に着手し、高生産性を目指す一ヘクタール区画をメインにした大区画化は場整備を行い、担い手農家への農地の集積化を図ることとしており、平成十二年度に事業の完了を予定しています。

大町から 電柱が消えます

国道103号大町地区は、幅員二十二メートル四車線の道路となつていますが、歩道には電柱や街路灯などがあり雑然としています。平成七年一月の阪神淡路大震災の教訓として、県では電線の地下埋設を検討していましたが、平成八年度の補正予算において長倉交差点から南町までの延長六百メートルの両側について調査費及び工事費などが計上されました。工事は平成九年度に施工される



とのことですが、完成後は、防災はもろんのこと景観についてもすばらしい街並みが生まれるものと期待しています。

なお、調査や工事が本格的に始まると住民の皆さんにご迷惑をおかけすると思いますが、ご理解とご協力をお願いします。

その他の行政報告

- ▽五大プロジェクト、三大対策及び新三大プロジェクトについて
- ▽大館樹海ドームについて
- ▽財団法人大館市文教振興事業団の設立について
- ▽ハチ公のふるさと秋田・大館フェアの開催について
- ▽大館アメッコ市について
- ▽米の新生産調整推進対策について
- ▽公共下水道の整備状況について
- ▽市立総合病院入院医事務の委託について
- ▽誘致企業の倒産について

